

◎DKボンド工法

登録番号：SK-980021-VE ★

自然景観を後世に残す「岩接着DKボンド工法」

専用材料DKボンドモルタルを岩盤の亀裂開口部などに充填・接着することによって落石の発生を防止する。

亀裂などから進行する風化作用を防ぐとともに、当該部に集中する応力を面的に分散させるため、地震などの繰り返し荷重に対する疲労耐久性に優れてお

り、接着性能を長期にわたり維持できる。

本工法46年間の施工実績において、近年の阪神・淡路大震災(1995年)、鳥取県西部地震(2000年)、芸予地震(01年)、東日本大震災(11年)などの大地震を経験した施工箇所はいずれも変状がなく、高い耐久性を実証している。

【工法の適用】①人力作業が主体の施工であり、工事設備なども軽微なため、**狭隘な現場や対象岩の大小・形状に関わりなく適用**

できる ②接着効果が早期に発現するため、災害箇所の緊急対応や応急処置にも適用できる ③高エネルギー吸収型の防護柵・網では対応が困難な巨岩や高所岩にも適用できる ④自然岩に対する改変や構造物の設置が不要のため、景観保全性に優れており、自然公園や景勝地などの風景の維持には最適の対策となる。

●国道29号 兵庫県宍粟(しそ)市内防災工事



お問い合わせ

**一般社団法人全国落石災害防止協会
事務局**

〒700-0808 岡山県岡山市北区大和町1-1-30
第二建設株式会社 内
TEL. 086-227-7311 FAX. 086-227-7312
URL <https://www.dkbond.co.jp>
E-mail daini123@mocha.ocn.ne.jp

◎トンネル覆工厚及び空洞厚の解析ソフト

登録番号：CG-210012-A

トンネル覆工厚及び空洞厚の高精度解析システム

本システムは、電磁波レーダーの受信信号から、「トンネル覆工底面波と空洞底面波を波形分析法(信号伝播モデル法)により高精度に分離・抽出し、これらの到達時刻とそれら反射波の極性にに基づき、覆工厚・空洞厚を高精度に

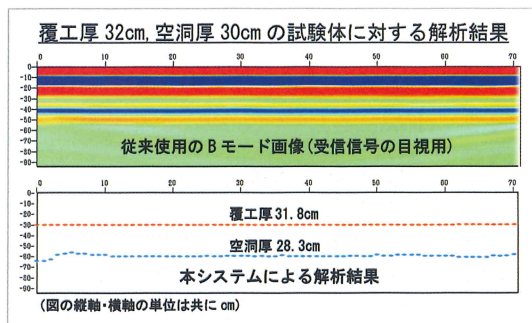
自動計測する解析ソフト」である。

従来技術では、電磁波レーダーの受信信号より作られるBモード画像から覆工厚・空洞厚を目視により読み取っているが、熟練者でも精度のよい解析は困難である。加えて、空洞の存在が確認できても、覆工表面および空洞の上面・下面からの反射波のダブリにより、空洞厚は正しく読み取れない。

本システムを活用することにより、①解析経験が少ない者でも自動計算による高精度な覆工・空洞底面深度の解析が可能、②Bモード画像解

析法に比べて解析時間の大幅な短縮が可能、③解析結果の数値出力および図化が自動的に行え省人化・省力化によるコスト削減・工期短縮が可能である。

左図に、覆工厚32cm、空洞厚30cmのコンクリート試験体を対象とした400MHzレーダーによる受信信号のBモード画像と本システムによる解析結果を示すが、覆工厚31.8cm、空洞厚28.3cmの極めて高精度な計測結果が得られている。



お問い合わせ

株式会社 ソイル・ブレン

〒745-0802 山口県周南市大字栗屋1035-6
TEL. 0834-25-0031 FAX. 0834-25-0049
URL <https://www.soil-brain.co.jp>
E-mail info@soil-brain.co.jp

New Technology Information System

日経コンストラクション 2022年7月号 広告別冊

NETIS 登録技術

2022

日経
CONSTRUCTION
コンストラクション

巻頭特集

活用が進むNETISの 現況と直轄工事における 新技術活用の推進

国土交通省 大臣官房技術調査課

NETIS登録技術

42技術の詳細紹介
工種別ガイド64件